

第 1 会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 101 B + C）

9:15-10:55 シンポジウム 1：オンライン診療シンポジウム

座長：竹内 公一（松戸保健所）

黒木 春郎（医療法人社団嗣業の会 こどもとおとなのクリニック パウルーム）

TSY1-1 オンライン診療は地域医療をどのように変えるか

黒木 春郎（医療法人社団嗣業の会 こどもとおとなのクリニック
パウルーム）

TSY1-2 オンライン診療

藤井 卓（藤井外科医院）

TSY1-3 へき地医療に活用するオンライン診療・遠隔医療

前田 隆浩（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 総合診療学分野）

TSY1-4 Possibilities of Remote Medical Consultation Using Humanoid Robots

熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

TSY1-5 指定発言

間中 勝則（厚生労働省医政局総務課）

11:00-11:50 招待講演 1

座長：千葉 伸太郎（太田睡眠科学センター）

睡眠の謎に挑む：原理の追求から社会実装研究まで

柳沢 正史（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）

12:00-13:00 ランチョンセミナー 1

共催：オープングループ株式会社／ AI inside 株式会社

「走攻守を兼ね備えた医療 DX の社会実装」（長崎の医療現場からの DX 実践レポート）

座長：松本 武浩（長崎大学病院 医療情報部）

LS1-1 走攻守を兼ね備えた医療 DX の社会実装

～長崎の医療現場からの DX 実践レポート～

石黒 満久（株式会社 NTT データ中国）

LS1-2 指定コメント

出口 雅浩（出口外科眼科医院）

LS1-3 指定コメント

奥平 定之（奥平外科医院）

LS1-4 指定コメント

門田 耕一郎（重工記念長崎病院）

13:30-14:00 学会長講演

座長：岸本 泰士郎（慶應義塾大学）

学会長講演

郡 隆之（日本遠隔医療学会）

14:00-15:25 招待講演 2

「HITO 病院 ご講演とミニパネルディスカッション」

座長：吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

SP2-1 DX と遠隔支援で拓く地域医療・介護の未来

石川 賀代（社会医療法人石川記念会 HITO 病院、石川ヘルスケアグループ）

SP2-2 現場の声のご紹介

西岡 陽子（石川ヘルスケアグループ 訪問看護ステーションいしかわ）

SP2-3 大会長施設（井上病院）の試みの紹介

進藤 春菜（社会医療法人春回会 井上病院 地域療養支援室）

SP2-4 ミニパネル討論

15:30-16:00 名誉会長講演

座長：郡 隆之（利根中央病院 外科）

遠隔医療から医療の基盤の変遷

近藤 博史（日本遠隔医療学会）

16:30-18:00 シンポジウム 2：離島・へき地シンポジウム

「離島・へき地における新たな医療ネットワークの構築」

座長：原田 昌範（山口県立総合医療センターへき地医療支援センター）

前田 隆浩（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座）

TSY2-1 オンライン診療と医療提供の場

間中 勝則（厚生労働省医政局総務課）

TSY2-2 しまで考える遠隔医療の未来予想図 ～モバイルクリニックと NURAS の可能性～

野中 文陽（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座（離島医療研究所））

TSY2-3 山口県の離島・へき地における遠隔医療の取り組み

市村 尚之（山口県立総合医療センター へき地医療支援センター）

TSY2-4 長崎県の離島における医療分野での ICT 活用促進の取組

新田 惇一（長崎県福祉保健部）

第2会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 101 A）

16:30-17:20 一般演題 B1

「オンライン診療」

座長：高木 俊介（横浜市立大学附属病院 集中治療部）

福島 直央（静岡大学情報学部、ファストドクター株式会社）

B1-1 地域に対する都市部からのオンライン診療支援による効果

～患者アンケートの結果より～

福島 直央（静岡大学情報学部、ファストドクター株式会社）

B1-2 救急外来の ICT 活用と業務負担軽減の取り組み

高橋 英夫（国保水俣市立総合医療センター 医療情報部）

B1-3 再現可能な精神科オンライン診療モデルの構築と成果

富野 邦彦（新宿ホームクリニック）

B1-4 宮城県における歯科口腔外科遠隔連携診療の取り組み

里見 徳久（気仙沼市立病院歯科口腔外科）

B1-5 大学病院循環器内科への遠隔・オンライン診療導入の経緯と実践

高見 充（神戸大学大学院医学研究科 内科学講座・循環器内科学分野）

17:20-18:00 一般演題 B2

「オンライン診療」

座長：大西 丈二（国立長寿医療研究センター）

松本 武浩（長崎大学病院 医療情報部）

B2-1 皮膚レーザー治療、当院における遠隔診療の取り組み

－小児皮膚疾患における活用と課題－

西堀 公治（西堀形成外科）

B2-2 高齢者施設におけるオンライン診療可能性の実証

久保田 泰広（国立研究開発法人 産業技術総合研究所）

B2-3 離島における郵便局スペースを活用したオンライン診療・服薬指導の可能性

[YIA] 松本 知己（山口県立総合医療センター）

B2-4 生活習慣病に対するオンライン診療と再診率

今井 紳一郎（一般社団法人 先端医療技術開発機構 AMT 東京芝ク
リニック）

第3会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 102）

10:00-11:00 シンポジウム 3：皮膚科シンポジウム

「皮膚科における遠隔医療と AI 診療の未来」

座長：室田 浩之（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚病態学）

阿部 理一郎（新潟大学 大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野）

TSY3-1 長崎大学における遠隔医療の取り組み

竹中 基（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学）

TSY3-2 皮膚疾患画像ナショナルデータベース（NSDD）プロジェクトと皮膚科関連 AI の開発について

藤澤 康弘（愛媛大学 皮膚科）

13:30-14:25 分科会セッション1：治療アプリ・デジタル療法分科会

「日本における新たな治療アプリの承認と今後の展開」

座長：佐竹 晃太（日本赤十字社医療センター 呼吸器内科）

野村 章洋（金沢大学融合研究域融合科学系）

SC1-1 製薬企業が開発する DTx（Digital Therapeutics）と拡大に向けた課題

神田 直幸（アステラス製薬株式会社）

SC1-2 製薬会社としての DTx（Digital Therapeutics）の開発と普及に向けた挑戦

坂倉 敏正（塩野義製薬株式会社）

SC1-3 VR デジタル療法はうつ病治療に何をもたらすのか

松村 雅代（株式会社 BiPSEE、高知大学医学部「医療×VR」学）

14:30-16:00 分科会セッション2：腫瘍内科遠隔医療分科会

「遠隔診療・Dx でがん診療は良くなるのか？」

座長：砂川 優（聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学）

松永 拓真（株式会社 MICIN）

SC2-1 がん診療におけるオンライン診療活用の実際

公平 誠（医療法人慈公会 公平病院）

SC2-2 がん診療における遠隔看護面談

～実態調査から考える地方県における CGP 検査に対する取り組み～

弘末 美佐（高知大学医学部附属病院 がん治療センター / がんゲノム医療センター）

SC2-3 がん領域におけるオンライン治験の現状と将来像

谷口 浩也（愛知県がんセンター 薬物療法部）

SC2-4 DCT（オンライン治験）の現状と臨床試験における生成 AI・DX の活用

川端 紗智重（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院
臨床研究支援部門）

SC2-5 臨床試験における生成 AI の活用

浅野 健人（大阪大学医学部附属病院）

16:30-17:10 一般演題 B3

「画像・病理・診断」

座長：砂川 優（聖マリアンナ医科大学 臨床腫瘍学）

松永 尚文（春回会クリニック 健診センター 放射線科）

B3-1 急性腹症の CT 読影支援 AI の構築

郡 隆之（利根中央病院 外科）

B3-2 読影レポートの質と業務効率性を向上させる、生成 AI を用いたプロダクトの紹介

武田 康宏（株式会社 Neuspective）

B3-3 歯科領域における遠隔画像診断の普及とその課題

江島 堅一郎（日本大学歯学部歯科放射線学講座）

B3-4 眼科領域における遠隔診療ツールを使用し発見した加齢黄斑変性症に対する診断 [YIA] と治療

西村 裕樹（医療法人 慶眼会 横浜けいあい眼科 和田町院）

17:10-18:00 一般演題 B4

「看護・リハビリテーション」

座長：岩本 敏志（東海大学医学部看護学科）

加澤 佳奈（岡山大学学術研究院保健学域）

B4-1 肺癌周術期のオンラインフォローアップやテレナーシング

小島 史嗣（聖路加国際病院 呼吸器外科）

B4-2 TCC 支援センターにおける被支援施設ユニットへの学習会の評価

住永 有梨（昭和医科大学 保健医療学部）

B4-3 無医の離島におけるオンライン診療 ～活動する看護師の視点から～ [YIA]

後藤 峰志（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科）

B4-4 演題取り下げ

B4-5 慢性閉塞性肺疾患患者への遠隔呼吸リハビリテーションシステムの構築と試験的検証 [YIA]

陶山 和晃（令和健康科学大学）

第 4 会場（出島メッセ長崎 1F 会議室 103）

9:55-10:55 一般演題 B5

「制度・社会保障・コンサルティング」

座長：東福寺 幾夫（高崎健康福祉大学）

富田 康弘（虎の門病院 睡眠呼吸器科）

B5-1 地域医療機関と大学病院を繋ぐ、医師間（DtoD）オンラインコンサルテーション [YIA] システムの構築

片山 慶一（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学）

B5-2 非同期型オンライン相談における回答所要時間が妊婦の医療機関受診に与える影響 [YIA]

重見 大介（日本医科大学 女性診療科・産科、株式会社 Kids Public）

B5-3 オンライン診療に代替可能なインフルエンザ軽症患者群での時間外救急外来における疾病負担と経済性に関する記述研究

田島 靖久（浜松医療センター 感染症内科、光産業創成大学院大学
バイオフォトンクスデザイン分野）

B5-4 医療法等改正案と新たなオンライン診療推進政策

東福寺 幾夫（高崎健康福祉大学）

B5-5 精神科の医師不足と地域偏在からみる初診待機問題とオンライン診療の果たすべき役割

長野 寛輝（ファストドクター株式会社）

B5-6 オンライン診療による地域小児医療への貢献と持続可能な制度設計の提案

水野 敬志（ファストドクター株式会社）

12:00-13:00 ランチョンセミナー 2 共催：レスメド株式会社

座長：富田 康弘（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院）

睡眠医療の知見を活かした遠隔医療の俯瞰と展望

～多領域におけるオンライン診療・モニタリング・患者支援について～

吉嶺 裕之（社会医療法人春回会 井上病院）

13:30-14:30 シンポジウム 4：デジタル基盤技術シンポジウム

「生活習慣病対策、働き方改革、高齢者のフレイル対策で求められる EHR + PHR
～医療 DX を考える～」

座長：近藤 博史（日本遠隔医療協会、協立記念病院）

長谷川 高志（日本遠隔医療協会）

**TSY4-1 生活習慣病、ロコモティブ症候群対策に必要な医療と介護のネットワークとその
EHR + PHR とに求められる最新技術基盤**

近藤 博史（日本遠隔医療協会、協立記念病院）

TSY4-2 蒲郡市が事業主体となって構築した EHR/PHR 基盤「がまっと！」について

飯田 征昌（蒲郡市民病院）

TSY4-3 医療提供制度では医療 DX をどのように評価すべきか

長谷川 高志（日本遠隔医療協会）

14:30-16:00 シンポジウム 5：遠隔連携診療シンポジウム

「遠隔連携診療」

座長：富田 康弘（虎の門病院 睡眠呼吸器科）

TSY5-1 遠隔連携診療の現状と課題

長谷川 高志（日本遠隔医療協会）

TSY5-2 炎症性腸疾患患者医療均一化を目指した遠隔医療体制の確立

仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部内科学講座消化器内科学分野）

TSY5-3 同種造血幹細胞移植後の遠隔長期フォローアップ (LTFU) 実施の課題

西川 彰則 (和歌山県立医科大学)

TSY5-4 難病・高度医療領域における遠隔専門医相談の実際と課題

山田 裕揮 (株式会社 Medii、東京科学大学医学部)

TSY5-5 中枢性過眠症の遠隔連携 MSLT

富田 康弘 (虎の門病院 睡眠呼吸器科)

TSY5-6 指定発言

間中 勝則 (厚生労働省医政局総務課)

16:00-17:00 一般演題 A1

「遠隔医療の技術と評価」

座長：上田 真太郎 (九州大学病院 国際医療部)

大仁田 賢 (社会医療法人春回会 井上病院)

A1-1 早期胃がん診断におけるビデオ会議のためのネットワーク環境の評価：

ラテンアメリカ7か国および日本における調査

上田 真太郎 (九州大学病院 国際医療部)

A1-2 医師の生涯教育としての学術集会のオンライン参加に対する意識の評価：

耳鼻咽喉科医と一般市民の比較調査

富松 俊太 (九州大学)

A1-3 通信断絶下における医療情報伝送方法の実用性検証

岩本 敏志 (前橋工科大学)

A1-4 訪問看護における遠隔モニタリングシステム実装による在宅療養者の心理的変化の

予備的検討—スマートウォッチと非接触型生体センサーを用いた介入前後比較—

天谷 尚子 (和洋女子大学看護学部)

17:00-18:00 一般演題 A2

「遠隔医療の地域に於ける新たな価値、評価」

座長：黒田 敬史 (北海道社会事業協会小樽病院産婦人科)

富松 俊太 (九州大学)

A2-1 高精度遠隔カメラ内臓遠隔医療システムを用いた遠隔妊婦健診の実施経験

黒田 敬史 (北海道社会事業協会小樽病院産婦人科)

A2-2 災害・医療空白地に対応する即応型歯科医療 MaaS の構築とその可能性

—移動型補綴提供ユニットによる試行と展望—

長縄 拓哉 (ムツー株式会社)

A2-3 遠隔画像診断を取り組む送受信側保険医療機関の現状の評価

嗣江 建栄 (ViewSend ICT 株式会社)

A2-4 遠隔医療の社会実装の課題の記述手法と分析手段の研究

長谷川 高志 (日本遠隔医療協会)